



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 阿多 親市
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理統括 (氏名) 長田 隆明

TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	34,243	13.9	1,008	△0.6	1,027	9.8	613	26.3
28年3月期第3四半期	30,075	5.0	1,014	61.1	935	50.8	485	△8.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 624百万円 (58.2%) 28年3月期第3四半期 394百万円 (△30.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	63.20	61.61
28年3月期第3四半期	50.00	49.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第3四半期	23,724	11,920	48.4	1,175.90
28年3月期	25,974	11,726	43.1	1,159.88

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,489百万円 28年3月期 11,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,000	4.1	2,400	4.0	2,300	3.1	1,500	6.7	154.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	10,821,200 株	28年3月期	10,696,900 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,050,621 株	28年3月期	1,050,490 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	9,699,623 株	28年3月期3Q	9,709,011 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日TDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<http://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>)にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

				(百万円)	(円)
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1株当たり四半期(当期)純利益
平成29年3月期第3四半期	34,243	1,008	1,027	613	63.20
平成28年3月期第3四半期	30,075	1,014	935	485	50.00
増減率	13.9%	△0.6%	9.8%	26.3%	26.4%
(参考) 平成28年3月期	45,163	2,308	2,230	1,405	144.74

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高34,243百万円（前年同期比+13.9%）、営業利益1,008百万円（前年同期比△0.6%）、経常利益1,027百万円（前年同期比+9.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益613百万円（前年同期比+26.3%）となりました。

主な増減要因は、以下のとおりです。

(a) 売上高

売上高は34,243百万円となり、前年同期と比較して4,167百万円（13.9%）増加しました。ソフトバンクグループ向けシステム開発・運用保守サービスの売上拡大やプラットフォームソリューション事業における機器販売の受注増加に加え、シマンテックストア事業が好調に推移したことにより増収となりました。

(b) 限界利益（注）

限界利益は8,781百万円となり、前年同期と比較して683百万円（8.4%）増加しました。ソフトバンクグループ向けシステム開発・運用保守サービスの売上が拡大したことに伴う外注費の増加や、プラットフォームソリューション事業における機器販売が増加したことにより、限界利益は増加しましたが限界利益率は低下しました。

（注）限界利益＝売上高－変動費（売上高とともに変化する商品仕入高や外注費、物流費等）

(c) 固定費

固定費は7,772百万円となり、前年同期と比較し689百万円（9.7%）増加しました。これは主に、採用を強化したことによる人件費等の費用が増加したことによるものです。

(d) 営業利益

上記の結果、営業利益は1,008百万円となり、前年同期と比較して5百万円（0.6%）減少しました

(e) EBITDA（注）

EBITDAは1,720百万円となり、前年同期と比較して21百万円（1.2%）減少しました。

（注）EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費

(f) 営業外損益

営業外損益は18百万円の利益となり、前年同期と比較して97百万円利益が増加（前年同期は78百万円の損失）しました。これは主に、持分法による投資利益が増加したことによるものです。

(g) 経常利益

上記(d)～(f)の結果、経常利益は1,027百万円となり、前年同期と比較して91百万円（9.8%）増加しました。

(h) 特別損益

特別損益は発生しておらず、前年同期と比較して8百万円利益が減少（前年同期は8百万円の利益）しました。

(i) 税金等調整前四半期純利益

上記(g)～(h)の結果、税金等調整前四半期純利益は1,027百万円となり、前年同期と比較して82百万円(8.7%)増加しました。

(j) 法人税等合計

法人税等合計は368百万円となり、前年同期と比較して47百万円(11.4%)減少しました。

(k) 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記(i)～(j)の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は613百万円となり、前年同期と比較して127百万円(26.3%)増加しました。

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なサービスの業績については、次のとおりであります。なお、一部サービス区分について、第1四半期より名称を変更しております。

また、一部のサービスに関するサービス区分について見直しを行ったため、各サービス区分の前年同期の売上高及び限界利益の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

セグメント	サービス区分	主なサービスの内容	主な事業会社の名称
報告 セグメント	デジタル マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ECサイト運営代行サービス、フロントセットの開発・販売及びウェブフロントサービスの提供 ・ウェブサイトの構築、アクセスログ解析ツール、データ解析及びコンサルティングサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・フロントワークス(株) ・(株)環
	プラットフォーム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・IT基盤の構築と運用保守サービス、リナックスソリューションの提供 ・脆弱性診断テストや標的型攻撃対策サービス、電子証明書を利用した認証や暗号化サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・ミラクル・リナックス(株)
	クラウドシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの開発と運用保守サービス、タブレット端末やスマートフォン、ロボット用アプリケーションの開発 ・情報システムのクラウド移行支援、親和性の高い自社クラウドサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンク・テクノロジー(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・アソラテック(株) ・リデン(株)

① デジタルマーケティング

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	15,735	16,411	676	4.3%
限界利益	2,417	2,347	△70	△2.9%

〈 主なサービス内容 〉

・ECサービス

シマンテックストアの運用代行や、フォントセットの開発・販売、ウェブフォント及びウェブフォントプラットフォームサービスを提供しています。

・データアナリティクス

ウェブサイトのコンテンツ管理システムの構築とアクセスログ解析、データを蓄積・加工・分析するBIツール、及びそれらに付随するコンサルティングサービスを提供しています。加えて、社内ログの分析サービスや広告費の効果測定サービスなども提供しています。

〈 当事業の業績概況 〉

当事業の売上高は16,411百万円となり、前年同期と比較して676百万円(4.3%)増加しました。これは、シマンテックストア事業の売上高が好調に推移したことによるものです。

限界利益は2,347百万円となり、前年同期と比較して70百万円(2.9%)減少しました。シマンテックストアの売上は伸長したものの、ウェブサイトのアクセスログ解析ツールやコンテンツ管理システムの構築に関する売上が減少したこと、また前年第1四半期に大型案件の受注があった子会社フォントワークス(株)の減収に伴い、減益となりました。

② プラットフォームソリューション

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	7,989	9,713	1,723	21.6%
限界利益	2,845	3,300	455	16.0%

〈 主なサービス内容 〉

・ITインフラソリューション

サーバーやネットワーク機器の販売、IT基盤の構築及び運用保守サービスの提供、リナックスOSやデジタルサイネージシステム、統合監視ツール及びサポートサービスを提供しています。

・セキュリティソリューション

セキュリティ運用監視や標的型攻撃対策、各種診断サービス、その他セキュリティ商材を組み合わせた包括的なソリューション、電子証明書を利用した通信の暗号化や認証サービス等を提供しています。

〈 当事業の業績概況 〉

当事業の売上高は9,713百万円となり、前年同期と比較して1,723百万円(21.6%)増加しました。これはITインフラソリューションにおける大型の機器販売や、自治体向けセキュリティ構築案件の増加によるものです。

限界利益は3,300百万円となり、前年同期と比較して455百万円(16.0%)増加しました。ITインフラソリューション、及びセキュリティソリューションそれぞれの売上が伸長したことに伴い、増益となりました。また、自社開発のコンテンツやサービス提供を行う子会社サイバートラスト(株)とミラクル・リナックス(株)も増益に寄与しております。

③ クラウドシステム

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	6,350	8,118	1,767	27.8%
限界利益	2,834	3,133	298	10.5%

〈 主なサービス内容 〉

・システムインテグレーション

情報システムの開発及びそれに付随する運用保守サービスを提供しています。また、スマートフォンやタブレット端末、ロボット向けのアプリケーション及び開発支援ツールの開発・販売を行っています。

・クラウドソリューション

顧客企業のコミュニケーションシステムのクラウド移行支援や、移行後の運用監視サービス、ユーザーの利便性と企業のセキュリティを両立する自社サービスなどを提供しています。

〈 当事業の業績概況 〉

当事業の売上高は8,118百万円となり、前年同期と比較して1,767百万円(27.8%)増加しました。これは主に、ソフトバンクグループ向けのシステム開発・運用保守サービスの受注が拡大したことによるものです。

限界利益は3,133百万円となり、前年同期と比較して298百万円(10.5%)増加しました。これは、ソフトバンクグループ向けシステム開発・運用保守案件、及び公共分野向けのクラウド運用保守案件が順調に推移したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	平成28年3月期	平成29年3月期第3四半期	(参考) 平成28年3月期第3四半期
総資産	25,974	23,724	21,959
純資産	11,726	11,920	10,873
自己資本比率	43.1%	48.4%	47.2%

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より2,249百万円減少して23,724百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末より2,381百万円減少しました。

固定資産は、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定の増加などにより、前連結会計年度末より131百万円増加しました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より2,443百万円減少して11,804百万円となりました。

流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より2,290百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末より153百万円減少しました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末より193百万円増加して11,920百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成28年4月26日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,721,789	5,929,452
受取手形及び売掛金	11,279,578	7,829,732
商品	221,142	423,182
仕掛品	260,724	788,711
繰延税金資産	377,998	221,482
その他	976,404	1,260,538
貸倒引当金	△8,206	△5,218
流動資産合計	18,829,431	16,447,881
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	515,562	495,910
工具、器具及び備品(純額)	776,185	725,167
建設仮勘定	9,684	498
有形固定資産合計	1,301,431	1,221,576
無形固定資産		
のれん	1,201,211	1,077,149
ソフトウェア	965,181	1,094,451
ソフトウェア仮勘定	89,180	222,121
顧客関連資産	590,745	542,847
その他	281,943	261,695
無形固定資産合計	3,128,262	3,198,266
投資その他の資産		
投資有価証券	912,669	946,052
繰延税金資産	243,755	261,418
その他	1,616,230	1,699,859
貸倒引当金	△57,587	△50,736
投資その他の資産合計	2,715,067	2,856,594
固定資産合計	7,144,761	7,276,436
資産合計	25,974,192	23,724,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,293,231	5,722,355
1年内返済予定の長期借入金	324,650	321,500
リース債務	71,413	74,672
未払金	701,044	752,143
未払法人税等	590,404	37,229
前受金	1,356,680	1,421,996
賞与引当金	608,652	318,360
役員賞与引当金	-	51,541
受注損失引当金	2,420	23,600
その他	810,105	744,859
流動負債合計	11,758,602	9,468,259
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	638,800	425,200
リース債務	434,093	389,715
繰延税金負債	118,567	153,781
長期前受金	670,407	982,992
退職給付に係る負債	74,220	89,312
資産除去債務	257,714	274,881
その他	195,388	20,016
固定負債合計	2,489,192	2,335,899
負債合計	14,247,795	11,804,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,456	740,030
資本剰余金	714,919	650,358
利益剰余金	10,629,573	10,953,218
自己株式	△872,008	△872,336
株主資本合計	11,136,939	11,471,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,778	15,360
為替換算調整勘定	3,987	2,586
その他の包括利益累計額合計	51,766	17,947
新株予約権	102,010	109,883
非支配株主持分	435,680	321,056
純資産合計	11,726,397	11,920,158
負債純資産合計	25,974,192	23,724,317

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	30,075,839	34,243,235
売上原価	25,310,372	29,020,254
売上総利益	4,765,467	5,222,980
販売費及び一般管理費	3,750,664	4,214,007
営業利益	1,014,802	1,008,973
営業外収益		
受取利息	256	775
持分法による投資利益	-	30,012
為替差益	3,471	-
雑収入	8,783	4,950
営業外収益合計	12,510	35,738
営業外費用		
支払利息	19,001	14,541
持分法による投資損失	69,215	-
投資事業組合運用損	779	-
為替差損	-	2,160
雑損失	2,378	783
営業外費用合計	91,374	17,484
経常利益	935,938	1,027,226
特別利益		
投資有価証券売却益	11,500	-
退職給付制度改定益	4,029	-
特別利益合計	15,529	-
特別損失		
投資有価証券売却損	4,703	-
減損損失	1,930	-
特別損失合計	6,634	-
税金等調整前四半期純利益	944,833	1,027,226
法人税、住民税及び事業税	240,153	178,627
法人税等調整額	176,174	190,037
法人税等合計	416,328	368,664
四半期純利益	528,505	658,562
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	485,485	613,037
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,020	45,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132,445	△32,418
為替換算調整勘定	△1,754	△1,401
持分法適用会社に対する持分相当額	540	-
その他の包括利益合計	△133,660	△33,819
四半期包括利益	394,845	624,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,455	579,218
非支配株主に係る四半期包括利益	42,390	45,524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。